



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

GOVERNOR:
SHIGERU SHIBATA

CREATE
LASTING
IMPACT



写真提供：多賀城 RC 多賀城南門

CONTENTS

ガバナーメッセージ.....	2		
ロータリー財団月間によせて.....	4		
2026-2027年度ガバナー公式訪問 報告.....	5		
2026-2027年度地区 R Y L A 開催報告	8	2026-2027年度行事予定表	10
RLI研修パートIに参加して.....	9	新入会員紹介.....	11
ポリオ根絶に向けて、学びを行動へ	9	退会会員・物故会員報告	11
2026-2027年度米山記念奨学会研修会		寄付報告.....	11
参加報告.....	10	編集後記.....	12

2026
月信
Vol.05

11

NOVEMBER

GOVERNOR'S MESSAGE ガバナーメッセージ

第 2520 地区丸 航海日誌

人から人へ、思いをつなぐ航海

— 小さな一歩が、未来を動かす —

2026-2027年度 ガバナー 柴田 茂

2026-2027 年度も 4 か月が過ぎ、「共に歩み、未来に飛躍する」を掲げて出航した「第 2520 地区丸」は、皆様とともに航海を続けています。

先月号では、公式訪問を通して見えてきた各クラブの奉仕の姿、そして「人を育て、未来へつなぐ」ことの大切さをお伝えしました。今月は、その思いが実際の行動となり、地域の未来へとつながっていく姿についてお話ししたいと思います。

7 月 7 日から始まったガバナー公式訪問も、10 月 13 日現在、地区 72 クラブのうち 54 クラブを訪問させていただきました。全体の 4 分

の 3 を終え、「第 2520 地区丸」の航海も大きな節目を迎えています。

訪問を重ねるたびに感じるのは、クラブの規模や歴史、地域の特徴は異なっても、そこには「誰かのために何かをしたい」というロータリアン共通の温かな心が息づいているということです。また、各クラブの会員の皆様との対話を通して、ロータリーの魅力は奉仕活動だけでなく、仲間との友情や信頼、そして世代を超えて受け継がれる思いの中にもあることを、改めて実感しております。

そして、もう一つ強く感じるがあります。



GOVERNOR'S MESSAGE ガバナーメッセージ

それは、奉仕活動を通して、地域の人々だけでなく、活動する私たち自身も成長しているということです。

9月12日に開催されたRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）でも、その思いを新たにしました。若い皆さんにお伝えしたのは、「RYLAの本当のスタートは、研修が終わった後にある」という言葉です。人の話を聞き、異なる考え方に触れ、仲間と語り合う。その中で得た気づきを、日常の小さな行動へと変えていく。そこから本当の成長が始まるのだと思います。

そして、10月3日、第8分区の9クラブが力を合わせて実施した「あぶ急ドリーム号」に参加し、その思いが地域の中で形になる姿を目の当たりにしました。少子高齢化や利用客の減少という課題を抱える阿武隈急行。その列車に約200名の子どもたちを招き、ふるさとの風景や鉄道の魅力を再発見してもらおうという取り組みです。車窓から景色を眺め、目を輝かせる子どもたちの姿が、今も心に残っています。この日の体験をきっかけに、阿武隈急行を好きになり、いつの日か運転士を夢見る子どもが現れるかもしれません。また、ふるさとの素晴らしさに気づき、将来この地域を支える人になるかもしれません。その小さな可能性こそ、私たちが未来へ届ける希望ではないでしょうか。

この事業を実現された第8分区の9クラブの皆様、そしてクラブをまとめてくださった津田政行・金子隆史両ガバナー補佐に、心より敬意と感謝を申し上げます。

一つのクラブでは難しいことも、仲間が手を取り合えば実現できる。その姿に、ロータリー

の素晴らしさを改めて感じました。今年度のRI会長が掲げる「持続可能なインパクトを生み出そう」とは、まさにこうした活動の積み重ねではないでしょうか。一度の奉仕で終わるのではなく、そこで生まれた感動や気づきが人から人へと伝わり、次の行動につながっていく。RYLAで若者が学ぶことも、地域子どもたちが夢を見つけることも、そして私たちロータリアンが奉仕を通して成長することも、すべて未来へと続く一歩です。

「第2520地区丸」の航海は、まだ続きます。これからも72クラブの皆様とともに、地域の小さな声に耳を傾け、一人ひとりの思いを大切にしながら、未来へ向かって歩んでまいりたいと思います。

共に歩み、未来に飛躍する。

その言葉を胸に、今月も希望を乗せて航海を続けましょう。

船長の一言

「未来を変えるのは、大きな力ではなく、小さな思いやりの積み重ね。」

一人の思いが仲間に伝わり、仲間の行動が地域を動かす。そして、その思いが次の世代へ受け継がれていく。

ロータリーの奉仕とは、人と人の心をつなぎ、未来に希望の種をまくことなのだと思います。



特別月間によせて



ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団委員会 委員長
パストガバナー（2020-2021）

伊藤 智仁（花巻南RC）

ロータリー財団の活動には、実施したプロジェクトを紹介して「やってみよう」という意欲を掻き立てるケースと、活動原資である寄付を話題にするケースがあります。当然、片方に偏ればプロジェクトは中途半端なものとなり、寄付も取られた感が強くなってしまいます。今回は、これらのモヤモヤ感をなくす取り組み方や考え方について触れてみます。

どんな行動や活動も人が関わる数に応じて自身の充実や満足感が高まります。ロータリーとてクラブより地区、地区より日本、日本より世界、といったように規模の理屈は一緒です。そもそも、クラブで募った寄付をクラブだけで使うとすれば活動内容のたかがしれるし、インパクトを生むまでには至りません。故に、輪の広い協力が求められます。

ロータリーは満足のいく活動をするために、世界中のロータリアンが協力して資金を捻出し、インパクトを生むプロジェクトに取り組みます。足元だけを考えたり、遠方での活動を他人事と考えたりしてはいけません。常に地域を広く捉えなければならないし、無関係と思われるプロジェクトにも自分たちの支援が関わっているのです。

ロータリー財団での活動資金は、5%の事務経費を除いたのち、地区資金（DDF）と国際資

金（WF）の二つに分けます。さらに、地区資金（DDF）の半分は地区限定の地区補助金、残りは海外地区との協力で行うグローバル補助金などに配分します。さらに、グローバルの場合は、協力地区が拠出した補助金総額の80%をWFから上乘せします。大雑把に言えば、事務経費を除く寄付の25%を地区単独事業（地区補助金）、50%を協力事業（グローバル補助金など）、残り25%をロータリー財団の独自事業に割り当てます。当地区での地区補助金（活用は年度内）は、約500万円（クラブ均等なら7万円）が限度です。しかし、海外地区と協力したグローバル事業ならば、ルール上は1クラブ当たり約11,500万円迄の補助金が受けられます。明らかに国境を超えた活動を意図した仕組みです。どのグローバル事業にも貴方の寄付が関わっていると自覚願います。

なお、グローバル補助金は海外地区との資金協力事業であり、海外での実施を求めるものではありません。地区やクラブに姉妹や友好などのコネクションを活用し、少しでも協力が得られればグローバル事業は成立します。

2026-2027年度 ガバナー公式訪問 報告

第8分区 角田・丸森ロータリークラブ

訪問日／9月1日☾

■会場：ジュネス我妻 ■同行者：金子隆史 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



角田ロータリークラブ



丸森ロータリークラブ

初めて柴田ガバナーにお会いしましたが、包容力があって相談しやすく、そして芯がしっかりしていて、頼りになる印象で「ロータリー愛」を感じました。「世界のロータリー」、「40代・50代の方にガバナーになって欲しい」という言葉が印象に残りました。我々のクラブも19名中9名が55歳以下。この中からクラブ役員、そしてガバナーになりたい人がどんどん出るようなクラブ活動、そして雰囲気づくりを、これから心掛けていきたいと思います。

(報告者：佐藤孝浩／角田 RC 幹事)

柴田茂ガバナー始め、金子隆史ガバナー補佐、原田誠章代表幹事をお迎えしての角田・丸森 RC 公式訪問、合同例会が開催されました。例会前の会長幹事会では、クラブ運営に関しての適切な助言や指導をいただきました。また例会では R I のテーマのもと、情熱あふれる基調講演を頂き、R I 及び地区の方針を丁寧に説明頂きました。合同懇親会では、柴田ガバナーは全会員のテーブルで懇親を深めて頂き、懇親会の締めは柴田ガバナーの「右肩上がり音頭」で閉会、ガバナーの温かい人柄に感銘を受けた、印象に残るガバナー訪問でした。

(報告者：鈴木正彦／丸森 RC 会長)

第3分区 気仙沼・気仙沼南ロータリークラブ

訪問日／9月10日☾

■会場：気仙沼プラザホテル ■同行者：三浦邦弘 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



ROTARY の活用など、実はハードルが高くないことを教えていただき、丁寧に浸透を図ってほしいとの提言をいただきました。(報告者：廣野一誠／気仙沼南 RC 幹事)

年次計画書に記載した東日本大震災時の支援リストを見て、過去の支援に感謝し続ける姿勢を評価いただきました。熊本の 2720 地区との相互支援もご紹介いただき、支援を通じて生まれるご縁を広げていくことの大切さも教えていただきました。

育英会の奨学金、何でも相談会、海岸清掃、田植え・稲刈りといった奉仕活動において、一般の方々を巻き込んで感動体験を共有することで、公共イメージが高まり、会員増強や協力者獲得につながるアイデアをご提案いただきました。

ポリオプラス・ソサエティへの登録、My

2026-2027年度 ガバナー公式訪問 報告

第6分区 古川ロータリークラブ

訪問日/9月11日金

■会場:アインパルラ浦島 ■同行者:早坂竜太 ガバナーエレクト 新堀順一 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



会長・幹事会では、柴田ガバナーは古川 RC が取り組む事業計画に関心を持たれ、高く評価してくださいました。当日は会員 30 名が出席し、ガバナースピーチでは、ロータリークラブの喫緊の課題である会員増強と退会会員の削減策について、有意義なクラブ活動の必要性を解り易く説明されました。公式訪問例会はあっという間に閉会となりましたが、ガバナーと会員相互の信頼関係を大きく築けたものと実感しております。

来年、古川ロータリークラブは 70 周年の節目を迎えます。さらなる飛躍に向け、充実したクラブ活動に尽力する所存です。柴田ガ

バナーのご来訪に心より感謝申し上げます。(報告者:平澤紀元/古川 RC 幹事)

第3分区 千厩ロータリークラブ

訪問日/9月15日火

■会場:マリアージュ ■同行者:三浦邦弘 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



会長幹事会では千厩ロータリークラブの現状についてお話し、今後の運営について相談させていただきました。事務局の運営、役員の選考など具体例を交えてお話しいただき、今後の方向性がみえてきました。また当クラブでもすでに協力させていただきましたが、熊本地震災義援金について東日本大震災や大船渡市山林火災の際に第 2720 地区(熊本・大分)から温かい支援をいただいたこと、そのご厚意に報いるために支援の必要を訴えられるお姿に感銘を受けました。例会では R I 会長のメッセージから 4 つの重点事項を基に、当地区での活動方針などを伺いました。大変有意義な時間をありがとうございました。(報告者:菅原正磨/千厩 RC 会長)

第7分区 仙台青葉ロータリークラブ

訪問日/9月16日水

■会場:ホテルメトロポリタン仙台 ■同行者:夏目雅貴 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



柴田ガバナー公式訪問では、10 月通常総会で改定予定の定款・細則についてご教授いただきました。社会奉仕委員会の「あおば食堂」には、支援を受けた子が将来次の世代を助ける好循環を生む素晴らしい取り組みとお褒めいただき、悩みや解決策のご助言も頂戴しました。また、釣りや麻雀等の親睦活動も高く評価いただきました。千田会長からは創立 35 周年式典(来年 2 月 13 日開催)へのご招待と、記念事業の野球を通じた甲子園出場への決意をお伝えし

ました。夏目ガバナー補佐・原田代表幹事からはマイロータリー活用法等を学びました。当初の緊張もほぐれ、和やかで大変有意義な時間となりました。(報告者:細川正智/仙台青葉 RC 幹事)

第1分区 盛岡ロータリークラブ

訪問日／ 9月18日(金)

■会場:ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング ■同行者:川村英司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事 佐藤百合子 地区幹事



会長幹事会では、柴田ガバナーから世界大会での2520地区の取り組み、特にオンライン RI 会長が掲げる「持続可能なインパクトを生み出そう」とはどうか、についてお話を伺うことができました。また、ポリオプラス・ソサエティに関し、当クラブではポリオプラスに一人1万円の寄付をしているが、一人100ドルになるよう工夫し、地区の登録者を増やしてほしいとの具体的な助言も頂きました。例会では、機材不具合があったものの、「共に歩み、未来に飛躍する」という地区運営方針についてお話をいただくと共に、「温故知新から不易流行へ」という当クラブ佐々木会長のテーマのとおり盛岡のリーディングクラブとして活躍していただきたいとのメッセージを頂戴し、今後のク

ラブ活動への心強い後押しを頂くことができました。(報告者: 畠山将樹/盛岡 RC 幹事)

第1分区 久慈・種市ロータリークラブ

訪問日／ 9月24日(木)

■会場:久慈グランドホテル ■同行者:中田勇司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



種市ロータリークラブ

ガバナー公式訪問は、久慈・種市ロータリークラブ合同で行いました。会長幹事会では、クラブの活動計画に対し、意見交換をさせていただきました。クラブの特徴を良く調べ勉強していることに大変感銘を受けました。講話では「1年後は楽しい1年だった」「一緒に活動してよかった」をお話しされ、ガバナーに見習い、楽しい1年にしたいと思いました。懇親会では、ガバナーの船長としての性格がそのまま場の雰囲気になり、終始楽しい懇親会でした。公式訪問には感謝申し上げ、お体に気を付けてこれからの訪問頑張ってください。(報告者: 岩本明佳/種市 RC 幹事)



久慈ロータリークラブ

2026-2027年度地区RYLA開催報告



RYLA委員会 委員長 小野 智哉（北上RC）

去る9月12日（土）、盛岡市に於いて2026-2027年度の地区RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）をフリーアナウンサーの山田理氏を講師に迎え、“あなたなら～その時の伝える力～”をテーマに開催致しました。

今年度のRYLAは2部構成での開催となり、第1部は『東日本大震災、テレビは何を伝えたのか』と題し、東日本大震災の発災時に緊急放送に携わった山田様から、当時の報道の現場の混乱や裏側について映像を交えてお話いただきました。第2部は『伝わる、話し方』と題し、現役アナウンサーが伝える『伝わる話し方』について実践を交えながらお話いただきました。

今回も地区内からインターアクトクラブとローターアクトクラブメンバー、青少年交換長期来日生を含む多くの青少年の皆様に加えて、地区役員をはじめとするロータリアンの皆様、総勢55名の皆様にご参加をいただき盛会のうちに終了することが出来ました、ありがとうございました。

今後ともRYLAの趣旨と意義をご理解いただき、より多くの若者（青少年）に機会を提供いただけるよう、ご協力の程、宜しくお願い致します。

岩手県立盛岡農業高
3年 工藤 朱花

東日本大震災が発生した際、テレビ局やニュース番組の現場でどのようなことが起きていたのか映像を通して学ぶことができました。緊迫した状況で、正確な情報を迅速に発信する大変さを知り、災害への備えについて考えるきっかけになりました。また、アナウンス体験は緊張しましたが、発声や話し方など、相手に分かりやすく伝えることの大切さを実感しました。伝える力は、学校生活や社会に出てからも必要だと思うので、今回のRYLAで山田アナウンサーから学んだことを活かしていきたいです。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

仙台泉ローターアクトクラブ
会長 北村 一宏

今回、初めてRYLAに参加し、リーダーシップとは何かを学び、世代や立場を越えて交流する大切さを改めて感じました。特に山田理さんの講演では、東日本大震災当時の経験を通して、緊迫した状況の中で「何を、どのように伝えるか」、そして瞬時に判断し行動することの重要性を学びました。また、伝える技術だけでなく、その根底にある相手を想う姿勢こそが人の心を動かすのだと感じました。仙台泉RAC会長として、得た学びやつながりをクラブの仲間にも還元し、一人ひとりが挑戦し成長できる環境づくりにつなげていきたいと思います。



講師 山田理氏



RLI 研修パート I に参加して 9月26日(土)／キオクシアアリーナ(盛岡市)



盛岡東RC
北島 幸洋

私は本年 7 月に盛岡東ロータリークラブへ入会し、9 月 26 日に開催された RLI 研修パート I に初めて参加しました。

入会して間もないこともあり、ロータリーについて十分に理解できていない部分もありましたが、今回の研修を通じて、ロータリーの理念や目指す姿、会員一人ひとりに期待される役割について学ぶことができました。

特に印象に残ったのは、「奉仕」の考え方です。地域や社会のために活動するだけでなく、自らの職業や日々の行動を通じて社会に貢献していくというロータリーの理念に共感しました。また、グループディスカッションでは、他のクラブのさまざまな経験を持つ皆さまのお話を伺うことができ、多くの気づきと刺激をいただきました。

今回の研修を通じて、ロータリーは単なる奉仕団体ではなく、仲間との対話や学びを通じて自らも成長できる場であることを実感しました。これからもクラブ活動に積極的に参加し、研修で得た学びを実践しながら、地域や社会に少しでも貢献できるよう努めてまいります。



仙台西RC
古積 昇

ロータリー歴約 20 年になりますが、今回、RLI 研修パート I を受講し、パート I からⅢまでの全課程を修了することができました。

研修では、リーダーシップや倫理と職業奉仕、ロータリー財団、会員の参加促進、奉仕プロジェクトなど、改めてロータリーについて考える機会をいただきました。長く活動していても、分かっているつもりでいたことや、新たな気づきが多くあり、初心に立ち返ることの大切さを実感しました。

また、同じセッションの部屋で初めてお会いした方と名刺交換をしたところ、大学の後輩のお父様であることが分かり大変驚きました。思いがけないご縁に、世間は狭いものだと感じるとともに、人との出会いの大切さを改めて感じました。

今回の学びと出会いを大切に、これからも仲間とともに学び、自分にできる奉仕を一つひとつ実践していきたいと思います。



ポリオ根絶に向けて、学びを行動へ

大船渡西ロータリークラブ

会 長 松 田 福 美

2026 年 9 月 25 日、大船渡西 RC は、大船渡 RC と合同で「仙台泉 RC パキスタン・ポリオワクチン投与報告会」を開催いたしました。現地での活動報告を通じて、ポリオ根絶に向けた取り組みの大切さを学び、世界の子どもの未来を守るために、私たちにできることを改めて考える貴重な機会となりました。

今回の開催にあたり、ご協力いただいた大船渡 RC の皆様、そして貴重な体験を伝えてくださった仙台泉 RC の皆様に、心より感謝申し上げます。

私たち大船渡西 RC の今年度のテーマは、「人を大切に 未来へつなぐロータリー」です。人を大切にする心は、地域を越え、国境を越え、未来へとつながる力になると信じています。

また、この学びを報告会だけで終わらず、10 月 5 日の大船渡市産業まつりでは両クラブ合同でポリオ根絶募金活動を実施し、地域の皆様にも活動の輪を広げることができました。一人ひとりの小さな行動を大きな力へ。これからも仲間と手を携え、未来の子どもの笑顔のために、奉仕の心を行動につなげてまいります。





2026-2027年度 米山記念奨学会研修会 参加報告

2026学年度

米山記念奨学生カウンセラー 田中 広江（盛岡西北RC）

「外国人を支援する前に、困っている日本の学生を支援するべきではないか」との声などもあり、確かにそれもそうだと思う気持ちもありながら初めて研修会に参加しました。そんな私の考えを見透かしたようなアドバイザー桑原茂 PG のお話は、非常に解りやすく端的に米山記念奨学生の意義を伝えて下さり、母国に帰った後の米山奨学生が、日本を理解しているからこそ懸け橋となっていることなどお聞きして、素直に納得することが出来ました。

お世話している岩手大学大学院生の任子慧^{にんこゑ}さんは、毎月楽しそうに笑顔満面で例会に参加してくれて、母国の説明、日本が好きで留学したこと、奨学生として学んだことなど実体験を通して話をしてくれています。研修会では米山奨学生代表スピーチを担当し、今までの出来事を思い出しながら話している成長した姿に、たった半年でこれほど立派に挨拶できるまでになったことに感動を覚えました。来年3月には卒業して就職のために中国に帰る時の事まで想像して涙をこらえきれませんでした。

研修会では世話クラブ内だけの卓話に留まることなく、他クラブの例会にも積極的に参加させて欲しいとご説明がありました。早速、柴田ガバナー輩出の盛岡東ロータリークラブ高橋耕カウンセラーと相談して、お互いの10月の例会で卓話してもらって交流することにしました。他の盛岡市内クラブからもお誘いがあったので今後順次ご紹介していく予定です。

研修後に任さんに、「来年3月に卒業した後も、リモートで構わないので例会での卓話を担当して関係を絶やさないで欲しい」とお願いすると、「リモート卓話はもちろん喜んでやりますし、可能なら盛岡に遊びに来る」と嬉しい約束までしてくれました。今後更に米山奨学生との関係を深められるように、世話クラブとして、カウンセラーとして勉強させていただきたいと思いを強くした研修会でした。

2026-2027年度行事予定表(11・12月) 11月は「ロータリー財団月間」です

日 程		行 事	場 所	
11月	7日(土)	RLI 研修パートⅡ	宮城	斎苑
	7日(土)	米山奨学生・学友 フルーツ狩り	宮城	フルーツパークあらはま
	14日(土)	第3分区分IM(一関RC)	岩手	ホテルの松の薫一関
	15日(日)	第4分区分IM(宮古RC)	岩手	浄土ヶ浜パークホテル
	14日(土)-15日(日)	第15回日本ロータリー学友会総会静岡大会	静岡	浮月楼(静岡市)
	22日(日)	第1分区分IM(久慈RC)	岩手	久慈グランドホテル
	23日(月・祝)	青少年交換第1回オリエンテーション	宮城	
	23日(月・祝)	諮問委員会、現・次期ガバナー補佐会議、加藤年度地区資金収支決算報告会、クラブ活性化セミナー、早坂ガバナーエレクト壮行会	宮城	アインバルラ浦島
12月	1日(火)	ガバナーノミニラーニングセミナー(GNLS#1)、第2回ガバナーエレクトラーニングセミナー(GELS#2)、第2回ガバナー会議	大阪	リーガロイヤルホテル大阪
	2日(水)	ロータリー財団地域セミナー、メジャードナー午餐会、歓迎晩餐会	大阪	リーガロイヤルホテル大阪
	3日(木)-4日(金)	ロータリー研究会	大阪	リーガロイヤルホテル大阪
	12日(土)	次期ガバナー補佐会議	宮城	古川土地(株)会議室
	20日(日)	第6回地区リーダー向けセミナー(危機管理)	東京	AP 八重洲 & zoom

新入会員紹介

 二戸 RC 梅 木 圭 子 2026.7.14 入会 電力事業	 種市 RC 外 和 信 哉 2026.8.1 入会 観光地域づくり	 盛岡北 RC 餘 自 義 信 2026.10.1 入会 医療器械・材料販売	 花泉 RC 武 田 浩 子 2026.9.1 入会 アパート経営	 大船渡 RC 井 上 幸 知 2026.9.16 入会 建設	 大船渡 RC 鈴 木 恒 2026.9.16 入会 板金
 気仙沼 RC 米 倉 工 雄 2026.9.29 入会 機械製造業販売	 石巻東 RC 大 江 昇 平 2026.9.4 入会 生命保険	 古川東 RC 石 田 伸 治 2026.9.1 入会 一般貨物運送業	 塩釜 RC 田 中 正 司 2026.9.4 入会 生命保険	 仙台 RC 竹 内 洋 介 2026.9.8 入会 調査サービス	 仙台 RC 三 澤 美 紀 2026.9.15 入会 移動体通信事業
 仙台青葉 RC 笹 川 康 2026.9.16 入会 総合保険	 仙台北 RC 今 野 伸 一 2026.9.2 入会 情報通信工事	 仙台北 RC 中 野 資 生 2026.9.2 入会 建築設計監理及び保守	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; padding-right: 10px;"> 謹んでご冥福を お祈り申し上げます </div> <div>  盛岡西北 RC 北 田 義 四 郎 2026年9月19日ご逝去 (享年91歳) 1990年2月入会 </div> <div>  仙台 RC 井 上 善 行 2026年9月13日ご逝去 (享年68歳) 2024年1月入会 </div> </div>		

2025-2026年度 ロータリー財団寄付認証バナー、感謝状贈呈

ロータリー財団より「2025-2026 年度の寄付認証バナー・感謝状」がお祝いの書簡とともに認証クラブに贈られました。

RC 名	年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ	100% ロータリー財団寄付クラブ	[Every Rotarian, Every Year] クラブ
盛岡東	1 位 \$317.04		
築館	2 位 \$244.12	○	○
遠野	3 位 \$229.48		
盛岡西		○	○
盛岡西北		○	○
花巻		○	○
花泉		○	
一関中央		○	○
石巻東		○	
石巻西		○	○
石巻南		○	○
仙台レインボー		○	○
仙台西		○	
岩沼		○	
		12RC	8RC

「End Polio Now: 歴史を作るカウントダウン」 キャンペーン感謝状

少なくとも 1,500 ドルをロータリーのポリオ根絶活動に寄付したクラブ

盛岡東 RC	奥州水沢東 RC	大船渡 RC
石巻東 RC	仙台 RC	仙台北 RC
仙台東	仙台西	仙台宮城野 RC

退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
古川 RC	赤 羽 美 佐	農機具販売	2026/10/2

寄付報告(9月)

■ロータリー財団

寄付分類	所属クラブ	氏 名
メジャードナー	二戸 RC	中 田 勇 司
ベネファクター	二戸 RC	(株)フクタ代表取締役 中 田 勇 司

■ロータリー米山記念奨学会

寄付分類	所属クラブ	氏 名
米山功労者メジャードナー	仙台東 RC	八 木 洵
米山功労者マルチプル	北上 RC	八重樫 晴 男
	一関中央 RC	小野寺 勘 治
	仙台東 RC	朴 沢 一 成

お詫びと訂正

10月号13ページ掲載の新入会員のお名前の漢字に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

花巻南 RC ×小田島祐介 → ○小田島裕介

Iwate area

会員数
124 (4)
52 (3)
48 (0)
26 (5)
12 (3)
46 (3)
18 (7)
58 (2)
51 (0)
39 (2)
29 (3)
19 (3)
25 (2)
33 (3)
10 (0)
19 (0)
15 (0)
16 (3)
22 (2)
13 (1)
29 (4)

日会員数
会員数
(80)

Miyagi area

た が じょう
多賀城ロータリークラブ

(多賀城 RC 会長 嶋原 啓文)

多賀城は、古代律令国家が東北地方を支配するため陸奥国に設置した国府で、奈良時代には鎮守府も併設され、古代東北の政治、文化、軍事の中心として栄えました。復元した南門は多賀城の正門となる入口です。多賀城は大きく3回の改修がなされ、第1期から第4期までの変遷がありますが、最も華やかだった第2期における南門と築地堀を復元しました。令和7年4月から一般公開しておりますので、ぜひご来訪ください。

編集後記

今月号では、ガバナー公式訪問をはじめ、RYLA・RLI研修、ポリオ根絶活動、ロータリー財団月間に寄せたメッセージなど、多彩な活動をご紹介します。各記事からは、人と人とのつながりが生み出す学びや成長、そして奉仕の力が伝わってきます。私のいる岩手県八幡平市では早くも積雪となり、季節の移ろいの早さを感じる頃となりました。雪が大地を静かに覆うように、皆様の善意と奉仕の心も地域や未来を支える大きな力となっています。日頃のご尽力に感謝申し上げますとともに、今後とも月信へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(月信担当幹事 佐藤 賢司)